



学校だより

みなみすな

令和8年度 6月号
令和8年6月1日
江東区立南砂小学校
校長 石川 千影

達成感のある運動会

副校長 姉崎 英夫

5月16日土曜日、夏を思わせるような快晴の下、南砂小学校 第26回運動会が無事に行われました。

コロナ禍以降、気候の急激な変化による気温の上昇に伴い熱中症対策として運動会のあり方が大きく変わってきました。ひと昔前の「全校児童が校庭に集まって、お昼は校庭にシートを広げ家族みんなでお弁当を食べ、丸一日かけて行う運動会」を懐かしくも思いますが、熱中症のリスクや運動会練習で大きく削られていた学習時間の確保等を考慮して、各学校が「こどものための運動会」にするため時程や内容に工夫をもちせています。そのような背景の中、今年度南砂小に着任した私にとって、本校の運動会はこどもたちにとって達成感が得られる運動だったと感じました。

その一つが6年生による「運動会プロジェクトチーム」の取組です。運動会の一部を、こどもたちが自分たちで企画し、運営することができるのです。これは私にとっても初めての経験で、とても新鮮でした。多くの運動会が（ひと昔前の運動会を含め）先生だけの企画・運営で行われる中、本校の運動会では「こどもたち全員が取り組めて、みんなが活躍できることは何か」についてプロジェクトチームの児童が中心となって6年生の意見を集約し、企画・運営しました。その結果、今年度は全校競技で「追いかけ綱引き」を行いました。一生懸命走り大縄を引くこどもたち、そして企画を考えたプロジェクトチームの児童、全校みんなが達成感を得られたと思います。まさに「こどもまんなか」な取組です。

また、運動会後の片付けには、たくさんの卒業生がお手伝いをしてくれて、教員と一緒に汗をかきながら大道具を運んでいる姿に感激しました。こんなところも南砂小の良い伝統だと、感じています。

6月はふれあい月間です。

こどもたちが安心安全に学校生活を送れるよう、6月は学校全体でいじめ防止について総点検します。

○教職員一人一人が、「南砂小 いじめ防止基本方針（ホームページ掲載）」を再確認し、いじめについての理解を深め、未然防止・早期発見・対応に努めます。

○こどもたち一人ひとりにアンケート調査を行います。アンケート調査から必要に応じて詳しい聞き取りを行い、いじめの発見に努めます。

○いじめの疑いがある場合には、「学校いじめ対策委員会」を開催して、いじめの認知を行い、今後の指導・援助の体制の構築、方針についての協議等を行います